

**製品名: 猛禽類ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86664**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:149 kDa; Observed MW:149 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Raptor
別名	KOG1; Mip1
遺伝子 ID	57521
SwissProt ID	Q8N122
免疫原	ヒトラプターの合成ペプチド

**背景**

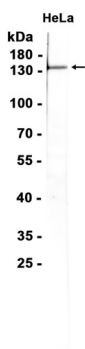
この遺伝子は、栄養素およびインスリンレベルに応じて細胞増殖を制御するシグナル伝達経路の構成要素をコードしています。コー

ドされているタンパク質は、mTOR キナーゼと化学量論的複合体を形成し、真核生物開始因子 4E 結合タンパク質-1 およびリソソームタンパク質 S6 キナーゼとも会合します。このタンパク質は、下流のエフェクターであるリソソームタンパク質 S6 キナーゼを正に制御し、mTOR キナーゼを負に制御します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009 年 9 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Raptor Rabbit Monoclonal Antibody を 1:1000 で使用して HeLa 細胞抽出物のウェスタン プロット分析を行いました。